

ピッグスキンの種類 革の下地 × 色 × 仕上げ組み合わせは無限

下地の革



タンニンなめし
植物の樹皮や葉から抽出したタンニンで革を鞣す。張りとしんがあり、型押し形状が保持されやすい。鞣しに時間がかかり高価。



クロムなめし
広く自然界に存在する三価クロムでなめす。ソフトで軽く伸縮性があり、発色がよい。短時間で製造できてコストも優れている。複数の鞣し方をミックスさせることもある。

革に色を付ける



染料染め
透明感のある染料で染色することで革の模様がはっきり浮き出す。



顔料塗装
表面に顔料を吹き付けて均質に色を塗るのでフラットな表情になる。



手染染 (てなせん)
刷毛や筆、スポンジなどを用いて手で色を付けたり模様を描く。



インクジェット
写真やイラストなどを自由にプリントできる。



表面感を加える



アメ豚 (ブタ)
タンニンなめしの豚革を染料で染めて、表面をガラス棒などで擦って艶をだす。



アイロン仕上げ
平らな鉄板を熱と圧力で押し付け光沢を出す。



エナメル加工
革表面に樹脂を何層も重ねることで、艶と防水性を与える。



フィルム加工・箔加工
柄が描かれたフィルムや箔を熱と圧力で貼り付ける。工場が保有する多種の中から選んで使える。



スエード
革の裏面をサンドペーパーで起毛、ピッグスエードは毛足が長く、繊維が緻密で滑らかなさがある。



ヌバック
革の銀面をサンドペーパーで起毛させた。毛足は短くきめが細かいのが特長。



後加工 (物理的な加工)



パンチング加工
抜き型を使って、連続した穴を開ける。穴によって柄を表現できる。



エンボス加工 (型押し)
彫刻された鉄板を熱と圧力をかけて押し付けることで、立体的な模様を浮き出させる工場を持つ型の中から選ぶ。



カッティング加工
革を水平に移動させながらナイフのような刃で革に切れ目を入れていく。写真は2方向からカットしたもの。



ブリーツ加工
布に折り目やヒダをつける加工。革だと元に戻りやすいので裏地を貼ることもある。

加工の組み合わせ例



ヘビ柄のプリントと、ヘビ柄のフィルムを組み合わせてリアルなヘビを表現。



スエードにモザイク柄のフィルムを貼り、その上に水玉シルバー箔を貼り付けた。



トラディショナルなチェック柄をつけた後にエンボスで細かなシボを加えた。

ハンドメイド作家や
小さなブランドが
買いやすいネット販売

中村貿易
(石居みさお皮革販売代理店)
<http://www.abctown.net/>
ビッグスエードを中心に、ビッグヌメ革、エナメル、ゴート、シープなどを取り揃え、1枚から発送しています。

やさしい革 Web Shop
<https://www.y-leather.shop/>
山口産業のラセッターを中心にカラーバリエーションも豊富に在庫。



革素材を探せる
展示会

オリジナル皮革の
相談

下地からオリジナルで開発する場合は、最低30枚ぐらいからのロットが必要です。

小さなブランドなどで商品用にオリジナル革が必要な場合、すでに在庫がある下地やスエード等を用いて、後加工やプリントなどで表面感を変えるだけでなら1枚から対応することもあります。ただし繁忙期など受けられない場合もあるので各社に相談してください。

JFW JAPAN CREATION
<https://www.japancreation.com/>
テキスタイル、ニット、服飾資材、皮革素材などの総合見本市

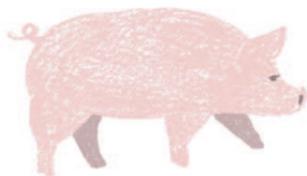
東京レザーフェア
<https://tif.jp/>
東京、姫路、和歌山などの皮革産地のタンナーや、皮革問屋、靴関係の資材などが一同に揃う皮革の総合展示会。

各社のページをご参照ください。

革のマメ知識

友だちに教えたい革にまつわるマメ知識
ちょっとだけ革にくわしくなれるよ

Q 革にはどんな種類がありますか？

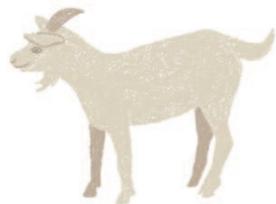


■豚 (Pig skin)

国産で自給できる唯一の素材。原皮やなめし革は世界に輸出されている。タンニンなめし豚革を染色し、表面をこすって艶を出した「アメ豚」は高級素材。

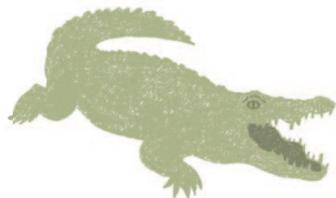


日本が輸出シェアNO.1なんだって！



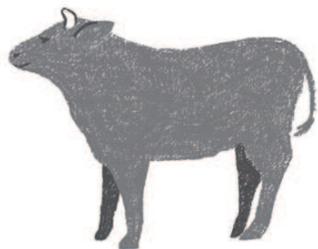
■山羊 (Goat skin)

密度の高い繊維としなやかさをもち、銀面の独特のシボが特長。



■ワニ (Crocodile)

ワイルドで迫力があり美しく並んだ斑(ふ)を持つ。高級素材。条約で規制されている革もある。



■牛革 (Cattle hide)

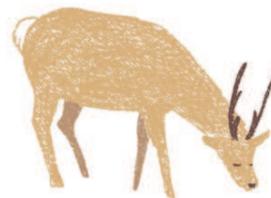
あらゆる皮革の中で最もポピュラーで用途が広い。仔牛は高級な靴や小物に、成牛は大型の靴やベルト、衣料などに使われる。

月齢や性別で革の特徴が全然違ってくるよ！



■馬 (Horse Hide)

牛革よりも厚さは薄く、しなやかで柔軟性がある。お尻の部分のコードバンは緻密で独特な光沢があり珍重され、ランドセル用が有名。



■鹿 (Deer skin)

古来から甲冑など武具に使われてきた。しなやかで手袋や印伝の小物などにも使われる。

■ヘビ (Snake)

個性的な斑紋や鱗が特長、部位で表情が変わる。小ヘビをスネーク、大型をバイソンと呼ぶ。

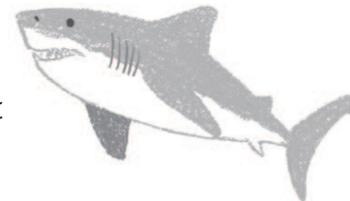


■サメ (Shark)

網目状の凹凸によって、スジ状の色の濃淡がある。海の生き物なので水に強い。



わさび下ろしのサメ皮は実はエイなんだよ！



Q 革ってどこが良いんですか？

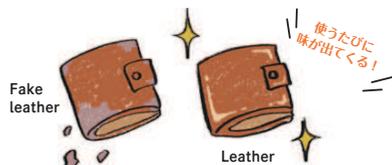
衣料や身の回り品に使われてきた古い歴史があり、人の生活に欠かせないものです。

その良さは

- 1) 高級感がある
天然素材ならではの温かみや表面の美しさがある
- 2) 弾力性や伸縮性がある
動物の動きに対応した皮が原料なので、伸縮性と弾力性がある
- 3) 燃えにくい
高温でも燃えにくく溶けないことから防災素材としても使われる
- 4) 吸湿性と放湿性がある
適度な吸湿性と放湿性があるので靴の内側にも使われている
- 5) 使い込むほどに味わいが出る
使い込むほどに深い艶が生まれ手や体に馴染んでくる



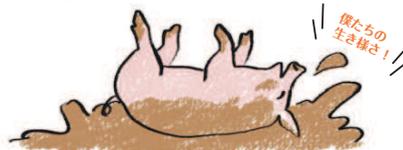
Q 合皮(合成皮革)と革ってどう違うの？



合皮は繊維にポリウレタンや塩化ビニールなどの合成樹脂を塗って革に似せた人工的なレザーです。軽くて汚れにくく安価で使いやすいのですが、寿命が短く劣化しやすいデメリット。使っていても革のように深みがある艶がありません。

Q 革に傷があるのはどうして？

革は動物の皮をもとに作られています。だから生きていたときの「傷(きず)」「シワ」「血管の痕」「虫刺されの痕」「焼印の痕」「色ムラ」などがついています。これらは動物が生きていた証(あかし)です。通常の製品はキズ跡を避けて革を裁断されているのでこれらのキズが目立ちません。素材を使い切るためにこの部分も有効活用したいですね。



Q 革でハンドメイドするときの注意

革を使ったハンドメイドは簡単なものから本格派まで楽しめるのでたいへん人気です。革の注意を知ると上達も早くなりますよ。

- ①元の動物の個体差により大きさや表面が異なる
- ②お腹の部分はやわらかく、背中などは硬いなど部位で物性が違う
- ③繊維の流れに沿って強く伸びますが小さく、繊維と垂直だと弱くて伸びが大きい
- ④傷跡がついている場合があるので、型で抜く際には注意
- ⑤アイロンの熱やスチームで収縮したり、加工フィルムが剥がれることがある
- ⑥薄い革には裂けやすいものがある



革の特徴をおさえれば失敗も少ない♪楽しく作ってみよう！

革のお手入れってどうするの？



靴クリームなど革のお手入れ用品の
トップメーカー『コロンブス』さんに
教えてもらったよ

スムーズレザー靴の基本のお手入れ 4 step!

はじめに紐や取り外せる金具は外しておきましょう

1 ブラッシング



ブラシで埃や汚れを落とします。踵からつま先、履きしわに沿ってブラッシング。コバの部分は一番汚れが付きやすいのでしっかりとかけましょう。埃が残っていると埃が油分をとってしまうので、しっかりとブラッシングしましょう。

2 クリーナー



クリーナーで汚れや古いクリームを落としていきます。指2本に布を巻き付けクリーナーをとり、優しく撫でるように拭いていきます。履きジワはシワに沿って拭きます。

3 クリーム



クリームは革に油分をプラスして柔らかくしてくれる効果が、別の布にクリームを軽くとり、優しく撫でるように塗っていきます。色付きのクリームなら傷を消してくれたり発色をよくしてくれます。

4 仕上げのブラッシング+クロス



余分なクリームをブラシで払っていきます。コバ、縫い目、スタッズにクリームが残らないように注意。毛先だけ触れるようなイメージで軽くかけていきます。その後、グローブ(柔らかい布でもOK)で乾拭きします。手を乗せた重さだけで軽くささっとかけて完了!

使ったアイテム



Q&A

靴が雨に濡れてしまったら？



革にとって**油分が大事!**
まずはすぐに布で拭きましょう。乾燥剤(B型シリカゲル)を入れて水分を取ります。無い場合は新聞紙を丸めてティッシュにくるんだものを3~4個靴の中に入れてOK。完全に乾く前にシューキーパーを入れて形をきれいに整えます。乾いてから基本のお手入れをして革に油分を補ってあげましょう。

お手入れの頻度は？

基本のお手入れは月に1~2回が理想です。普段は出かける前か帰ってきた時にブラシを軽くかけてあげればOK!



お手入れアイテムって高い？

数千円の初心者セットからあるので、まずはそこから試してみてもいいです。一度に使うクリーナーやクリームは少量なので長く使えます。



スエード靴の基本のお手入れ 3 step!

はじめに紐や取り外せる金具は外しておきましょう

1 ブラッシング+ゴム



ブラシで埃や汚れを取ります。濡れて毛がねてしまっただかたかになった部分はゴムや砂消しで撫でて毛を起していきます。最後にブラシをかけて毛を整えます。

2 栄養スプレー



スエード用の栄養剤スプレーを満遍なく吹きかけます。乾燥後、ブラシをかけて毛を整えます。

3 防水スプレー



最後に汚れ防止のための防水スプレーを吹きかけ乾かします。

使ったアイテム



ワンポイントアドバイス



クリーナーの量は百円玉くらい。もし出しすぎてしまったら別の布にポンポンと叩いて液を移しましょう。これで半分くらい減りますよ。



クリーナーやクリームの塗り始めは革の厚みのある踵かつま先からがおすすめ。



天然素材のブラシなら、天然素材同士なので力加減はそんなに気にしないでOK!しっかりとブラッシングしよう。



クリームの量はレディースで米粒3~4粒、メンズはコーヒー豆1粒くらい。少しの量から♪

お手入れすると良いことって？



財布のお手入れ

革製の財布は手の脂で艶がでてきます。汚れがいつたら落とさなければなりません。



バッグのお手入れ

基本の手入れは靴と同じように。濡れたときに擦ると色移りするところがあるので注意。



株式会社コロンブス

<https://www.columbus.co.jp/>





最近、ハンドメイドでレザークラフトをする人たちに「カラーが豊富で扱いやすい」「家庭用ミシンでも縫製ができる」と人気が高まっているビッグスエード。

石居みさお皮革販売代理店「中村貿易」は、ビッグスエードを1枚からネットで販売する皮革業界でも珍しい存在です。皮革の作品制作に適した基本色から徐々にカラーバリエーションを増やして現在は80色展開。

幅広い方々に
革の面白さを
伝えていきたい

常に在庫ストックがあるので、『1枚だけ』でも『同ロットの同色を20枚』という発注でもOK。200枚づつ染めているため色ブレが少ないと好評です。

石居みさお皮革

ISHII MISAO HIKAKU

販売代理店 中村貿易 株式会社



石居みさお皮革販売代理店：中村貿易株式会社
〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3 中村ビル
TEL.03-6657-4440 FAX.03-5247-4080
nakamura@abcstown.net
Webショップ：https://abcstown.net



Business

- ◆ 企業
- ◆ クリエイター
- ◆ 一般 (ネットショップ)

ビッグスエードを常時80色以上在庫して、1枚から量産分まで、スピードと安定供給で営業しています。革小物製造のOEMをご相談ください。

企業への卸売だけではなく、レザークラフト等で革を使用するお客様に対しても丁寧なコミュニケーションを取りながら販売することで長い付き合いになることが多いのも特長です。

「最近では、アナログである革の良さが見直されていると感じます。ローテクだからこそ、若い世代にとっては魅力的に映るようです。その強みをもっと活かして、幅広い方々に革の面白さを伝えていきたいと思っています」と中村専務は語ります。



専務取締役
中村 伸一

ハンドメイド用に人気 ビッグスエードを1枚からネット販売

WEBサイトやSNSなどでも、革のアナログな魅力やビッグやゴート(ヤギ)など動物別の特徴など、積極的に情報発信を行っているのでぜひご覧ください。



Recommend

超撥水スエード
製造工程で撥水剤を加え
半永久的に水を浸透させない



スエード
常時80色の在庫があり、
1枚から販売中



厚手の革も得意な
染色加工ファクトリー

株式会社 エセカ

ESEKA CO.,LTD.

株式会社エセカ
〒131-0042
東京都墨田区東墨田 3-15-19
TEL.03-3613-8851
FAX.03-3613-8854



エセカのユニークな社名は「江澤染革株式会社」の頭文字から取られています。社名の通り、染色、塗装、二次加工といった、革の繊細な仕上げが得意。さらに「革の柔らかさやしなやかさ」を出す「味(あじ)」加工のため、ドラムを使って再なめしなども行っています。

ベルト、靴、バッグなどすべてのジャンルにまたがる革素材を扱っていますが、特に4~4.5mm厚の牛革の仕上げは手がける工場が少数。



「私たちは国内だけでなく、海外から輸入された革を再加工するという仕事も少なくありません。ヨーロッパの革の素晴らしい技術に触れることも多いので、そういった点は改めて勉強になります。また最近では、ワイルドな味が楽しめる「厚手の革」のニーズが高まってきました。普通1.5~1.8mm程度の厚みが一般的ですが、その倍以上の厚みは、加工するのもなかなかの力仕事なのです」と江澤社長は話します。

革をドラムに入れて希望の色に染色してから、手作業と機械を使って丁寧に水分を絞り、棒にくぎ打ちする。そこから革を伸ばし、1枚づつ天井に掛けながら干していきませんが、水分を含んでいるため、かなりの重さになります。

「手間と体力が必要な作業ですが、いいものを作りたいという一心で続けています。最近では私の甥も入社してくれたので、若手のアイデアをものづくりに活かしていきたいですね。私も父から『失敗してもやるだけやってみろ』と言われながら育ったので、色々なチャレンジしてほしいと思います。」

哺乳類革の染色・塗装では乾燥工程も重要。弊社では狙った質感になるようじっくり乾燥させて仕上げます。丁寧な手仕事によるこだわりの素材をご覧ください。



代表取締役
江澤 正喜

江澤社長曰く、以前商社からのオファーで、防水レザーを使った革製の水着(ウォッシュアップル・ビキニ)を作ったこともあるそうです。ヒットこそなかったものの、誰もやっていないことにトライするのは本当に楽しかったと、嬉しそうに話される笑顔が印象的でした。



牛革を背中から2つに割ったものを半裁と呼びますが、4mmの厚さの半裁は15kgとかなりの重さ、なめすのも乾燥させるのも重労働で人手がかかります。



Recommend

カーキパール
タンニン鞣しのボリャーミーな山羊革をパール仕上げ



クライアントの『色のニーズ』に 応え続ける“染色の匠集団”

1日10～20色、年間で1,000色もの色を染めている“レザー染めの匠集団”それが兼子皮革染色工場。

サンプルで持ち込まれた小さなチップを元に、本番用の大きな革を正確に染め、灯りによって見える色が変わるので“色評価用蛍光灯”を二種類用意して、職人眼で微妙な色彩まで見極めています。

「染める材料は主にビッグレザーを中心にシブ、ゴートなど小判の革が得意。とくに婦人靴向けの甲革用が多く、最近では財布やバスケースといった革小物が増えました。今までは希望の色に染めることが主な仕事でしたが、最近では問屋さんからのリクエストで一手間をかけた加工も増えています。熱や薬品でシワをだすヒートシユリンクや、ガラス棒で擦って深い艶を出すグレージング加工なども得意です。」



他にも増えているのが、海外から輸入した革の色がブレているので、修正してほしいというオーダー。よく見たら革の芯まで染まっていけないなど、すでに仕上げが終わっているが、製品になってからの加工のリクエストも少なくありません。

「難しいケースも多いですね。どちらかで噂を聞きつけて『ここならやってくれると聞いたので』と言われると、技術力を頼ってきてくれたのかと思いがたいです。ただ革は生き物が材料で一枚一枚材質が微妙に異なり、いわゆる大量生産の工業製品ではないので、思っている色に染まらないことも少なくありません。」

『どうかこの色に染まって下さい』と祈るような気持ちのときもありますよ」と兼子会長。現在の兼子優社長は4代目。2007年に入った次男の兼子洋之さんは、タンナーの修行としてバルセロナでの仕事経験も持つプロフェッショナル。現在は若手世代が、先人たちが培ってきた高い技術を継承していくことに情熱を注いでいます。「染色」の深淵な世界に、新しいアイデアが重なっていくと思うと今後が楽しみです。

当社は
ビッグスキンを主力に
キップ・ゴード・バツファロー
等も加工し、バッグ・ベルト・
袋物・衣料・小物向けに提供。
革の特性を活かした価値ある
新素材を開発しています。



担当
兼子 洋之



1日10～20色

年間1000色もの色を染める

有限会社 兼子皮革染色工場

KANEKO HIKAKU SENSYOKU KOJYO CO.,LTD.



有限会社兼子皮革染色工場
〒131-0042
東京都墨田区東墨田 3-14-25
TEL.03-3612-3710
FAX.03-3612-3665
hkaneko25@gmail.com

取締役会長 兼子隆之
代表取締役社長 兼子優介
取締役専務 兼子弘二
担当 兼子洋之

Recommend

ワックスアニリン
染色/グレージングした
ヌメ革をワックスで仕上げ

グレージング

染料染め革に
タンパク質を染布し
ガラス玉で磨き上げる



革漉(かわすき)とは、革を薄くスライスして厚さを調整する加工。日本における革漉加工の元祖がこの墨田革漉工業です。さらにエンボス(型押し)、パンチング(穴開け)、フィルムや箔を貼る、ブリーツ、デジタルカッティング(ナイフで切れ目を入れる)…と、さまざまな後加工を手がけ、革業界では頼りにされる存在です。

日本で墨田革漉だけが持つ特殊加工の一つデジタルカッティングは、革を少しずつ移動させながら包丁のようなナイフで切れ込みを入れていきます。送る距離を変えることで様々なカット模様が生み出され、ナイフで細かくカットした革を水洗いして毛羽立るとまるでタオルのような、動物の毛のような表現にもなります。デジタルな加工なのにナチュラルな表現だと著名なブランドにも採用されて次世代ファッションレザー用の加工として注目されています。



多様な加工技術で デザイナーの創作意欲を刺激



ショールームには
これまでに加工された
数え切れない革見本が並ぶ



墨田革漉工業 株式会社

SUMIDA KAWASUKI CO.,LTD.

墨田革漉工業株式会社
〒131-0041 東京都墨田区八広 4-43-4
TEL.03-3613-2131 FAX.03-3619-5380
skltd@nifty.com

顧問 佐藤 功
代表取締役会長 佐藤元治
代表取締役社長 佐藤泰二



「午前中から夕方まで一日中ご覧になっていた方もいました。革好きにはたまらないと思います。弊社の加工や技術、素材を掛け合わせて、新しい革素材づくりにチャレンジしてください。無茶な相談も歓迎です。」と佐藤顧問。



加工のスペシャリストとして
型押、パンチング、ブリーツ、
箔貼、インクジェットプリント、
カッティング加工等に対応。
皮革面積計量や薄漉きも
承ります。



代表取締役社長
佐藤 泰二

スペシャルドット
金属感のある箔や様々な柄の
フィルムを貼る加工です

Business

- ◆ 企業
- ◆ クリエイター



会社のショールームには、これまでに加工された数え切れないほどの革素材の見本が数百種類が並べられ圧倒されます。革は加工の重ね方次第で無限にオリジナル素材を作ることができるので、並べられた見本は、技術が蓄積されたデータベースの役割も担っています。革製品メーカーのデザイナーやクリエイターたちがこの部屋を訪れオリジナル素材のアイデアを考えていきます。

Recommend

インクジェット
プリント
写真やイラストを
インクジェット方式でプリント



Business

- ◆ 企業